

「父の名は、松本智津夫。」

“麻原彰晃の娘”として
生きることを強いられた彼女の41年。

それでも私 *Though I'm
His Daughter* は

シンポジウム

加害者家族の視点から 死刑制度を考える

1995年3月、日本社会を震撼させた地下鉄サリン事件。

その首謀者の娘として生まれ、12歳で父の逮捕を経験した松本麗華（まつもと・りか）さん。

「父の名」と「事件の記憶」、そして償いを問う声と共に歩んできた彼女を追ったドキュメンタリー映画を上映します。上映後には、監督の長塚洋さん、松本麗華さん、支援を続ける安西敦弁護士によるトークショーを開催します。

事件から30年近くを経た今、私たちが向き合うべき問いを共に考えたいと思います。

第一部

映画上映会 (119分)

「それでも私は *Though I'm His Daughter*」

第二部

トークショー (15:45頃～)

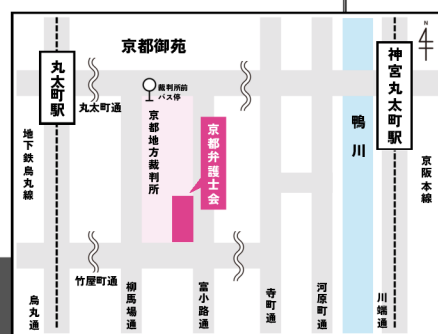
2026.2.21 (土) 13:30 ▶ 17:00 (予定)
[開演]
[開場] 12:30
申込不要・入場無料

出演

長塚 洋 氏	本作監督・プロデューサー
松本 麗華 氏	本作出演
安西 敦 氏	弁護士 (京都弁護士会)

📍 会場

京都弁護士会館地階大ホール
〒604-0971 京都市中京区富小路通丸太町下ル



主催 | 京都弁護士会
共催 | 日本弁護士連合会

TEL. 075-231-2337 土日祝を除く
9:15 ~ 12:00 / 13:00 ~ 16:30